

車いすの学生からみた大学図書館の利用

長崎純心大学 近藤由理



自己紹介

◆名前：近藤由理

◆所属：長崎純心大学

文化コミュニケーション学科4年

◆一言：図書館司書になるための勉強中です。

今回の発表を通して、皆さんの視点、私の視点、お互いの視点を知ることのできる良い機会にできればと思います。よろしくお願いします。



図書館に4年間通っていて思うこと

素敵だと思うこと😊

- 司書が優しい。
- 司書がよく声を掛けてくれる。
- OPACがスマホでも使える。
- 車いすが入りやすい席やトイレがある。

不便に感じること😞

- 通れる場所と通れない場所がある。
- コピー機を自分で使えない。
- 光の角度によって背表紙が見えないものがある。
- 本棚が高くて自分で取れないことがある。

実際に見てみよう！！

カウンターの様子



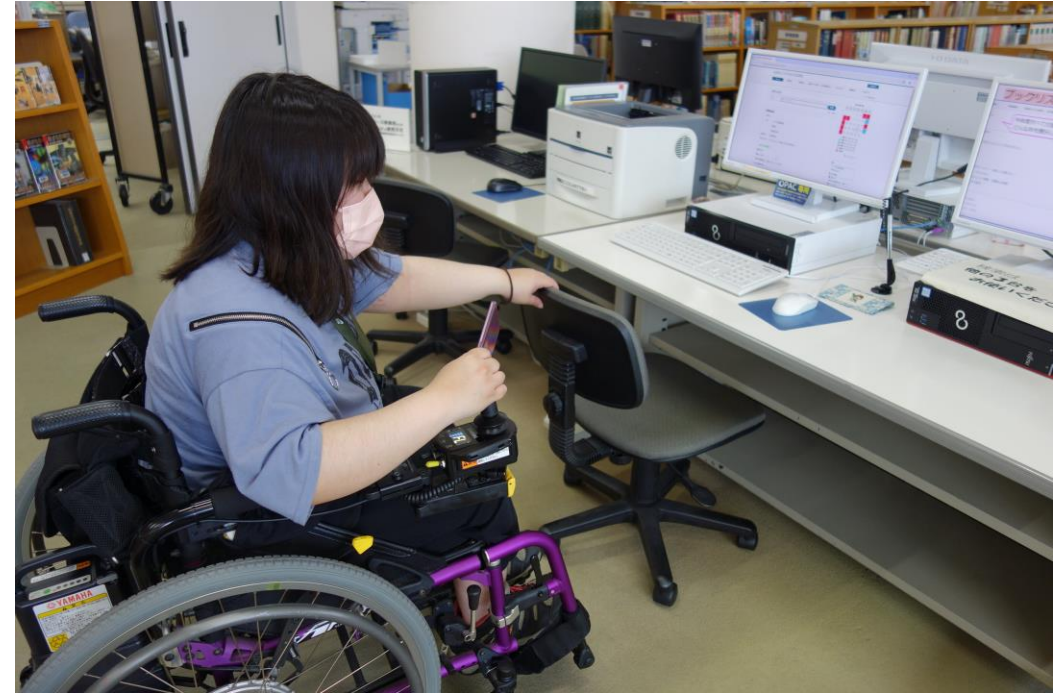
借りる本が多かったり、手動の車いすのときは、「本を席まで持って行きましょうか？」や「本を借りますか？」などと声を掛けてくれる。

カウンターに手を伸ばして利用する時の高さ

地面から90cm

OPACの利用について

OPACを利用するために
いすを移動している様子。



- ・ 図書館でパソコンを使って利用する際には、いすがあるためいすの移動が必要。
- ・ 携帯でも使えるため、手元でも利用できて便利。

コピー機の利用について



- コピー機は、高くて利用が難しい。
- 腕を精一杯伸ばしても開けるのが難しい。
- 「文献複写申込書」に記入後、司書にお願いしてコピーを取ってもらう。

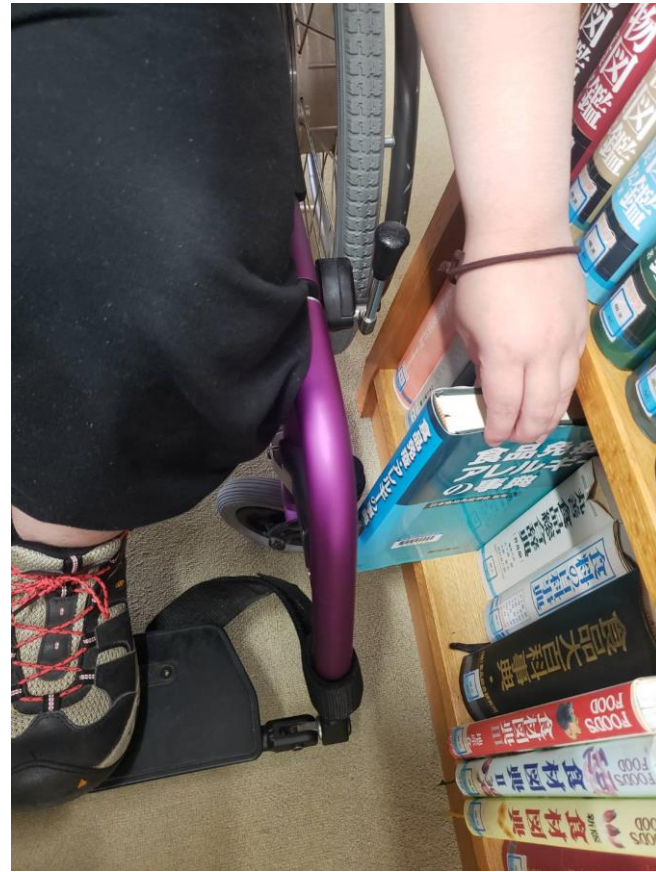


- 背の低い棚は、見やすく自分で本を取りやすい。
- 他の棚のところと比べて広い。

しかし・・・



- 場所によっては通れる場所と通れない場所があるので、考えながら行く必要がある。
- 場合によっては遠回りになることがある。



下にある本は、工夫して取らないと取り出す際に、車いすに引っかかって取りづらい。
また、本がこのように飛び出していると、車輪に引っかかって動けなくなるため、注意しなくてはならない。

閲覧席について



2カ所、イスが置かれていないところがあり、自分でイスを動かさなくていいので、使いやすい。

展示について

高さが低く、展示している台が少し斜めであるため、とても見やすくなっている。



地面から67cm

4、5類の書架

書架間の広さは107cm
書架の一番上は187cm（7段）

利用できる書架は5段まで
地面から132cmまでは手が届く

- ・キックステップが、通るときに邪魔になるので、キックステップがあるときは、手や足を使って動かさないといけない。
- ・手が届かない高さの書架の背が電気で光って見にくい。





7類の棚

棚の間の広さ：72cm

利用できる高さ：106cmまで
(4段目)

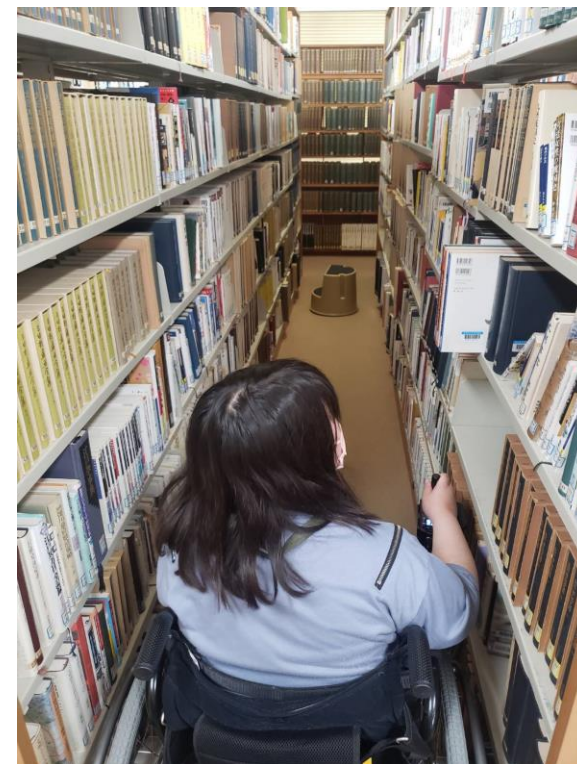
間が狭いため、方向転換ができず、後方確認も難しい。そのため違う棚に行くときや棚を出るときは、後ろに気をつけながら進む。

0～2類の書架

書架間の広さ：75cm

書架から飛び出した本に車椅子が引っかかることがある。

そのため、注意しなくてはならないが、参考図書のところや4、5類の棚より間隔がせまいので、さらに繊細な車いすを動かす技術が必要。



まとめ

私にとって、図書館の利用は不便が多い。

しかし、図書館の人々がよく話を聞いてくれたり、どうしたら
使いやすくなるかというのを考えてくれているおかげで、

私は図書館で心地よく過ごせている。

ご清聴ありがとうございました。

よき図書館ライフを！！

